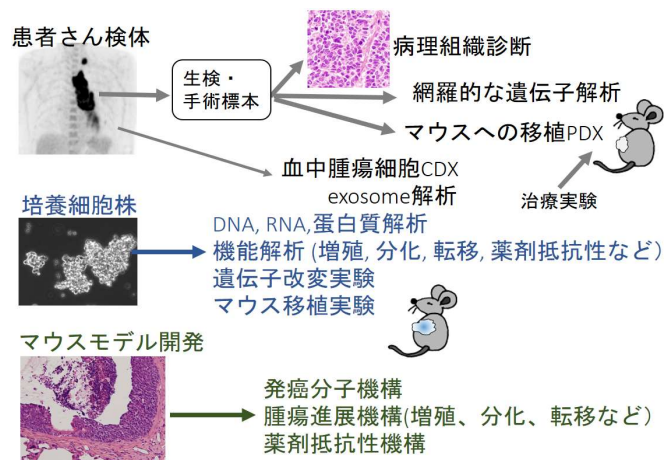


病理学

教授 伊藤 隆明
Takaaki Ito

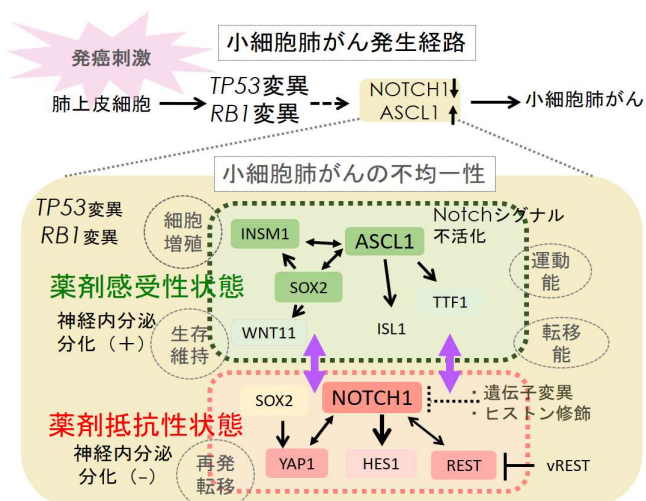
現在の研究テーマと内容

私たちは、以下の図のように、肺がんの発生機構、細胞分化機構、組織型決定機構、腫瘍内 heterogeneity および治療抵抗性について、ヒト肺癌組織、ヒト肺癌移植モデル、培養細胞、マウス肺癌モデルなどを用いて、解析しています。



これまでの研究成果と今後の展開

最も悪性度の高い肺がんである小細胞肺がんについての研究を進めていて、特に、腫瘍内の腫瘍の不均一性について検討していて、下図のように、この癌の特徴を明らかにしました。



参考文献：

Ito T. Molecular pathology of small cell lung cancer: Overview from studies on neuroendocrine differentiation regulated by ASCL1 and Notch signaling. Pathol Int 74: 239-251 2024

大学院を目指すみなさんへメッセージ

大学院生は、大学生と違って、自分の興味ある研究にとことん没頭できる機会を得ることができます。大学院生活を通し、貴重な青春を過ごしてほしいです。